






SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	取締役、各課主任に女性がつき、相談体制を取っている。障がい者、外国籍労働者の雇用は現在ない。採用募集時に、性別・年齢・人種・出身を聞いていない。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	各種ハラスメントへの理解を深めるための勉強会等を計画し、社員への浸透を図っていく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	毎週月曜日・火曜日はノー残業デーとして原則残業禁止としている。									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現状外国人労働者の雇用はなく、直近の予定はない。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	建築現場における労働安全衛生対策として、毎年取引業者を集めて安全大会を開催、事故事例の共有や緊急時対応について認識共有を図っている。			3						8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	毎日の昼食を自炊してスタッフ皆で食べる、年に数回のコミュニケーション懇親会の開催、社員が自由に使えるフリータイム(1回1時間)制度など仕事だけでなく、気持ちをリフレッシュさせる取り組みを行っている。			3														
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	特に女性が活躍する環境が培われており、正社員28名のうち、13名が女性社員となっている。(他パート5名も女性)					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	毎月の全体MTGでの勉強会や、課ごとの専門的な勉強会(例：構造設計事務所の勉強会)を行っている。				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働内容に応じた賃金を設定している。その他の休暇制度等は雇用形態に関わらず全スタッフを対象としている。					5.5				8.5	10.2 10.3							
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	環境と社員の健康のために、自転車通勤を推奨している。購入の補助と、通勤補助の制度を設けている。			3						8								
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	建築現場においては、廃棄物処理法に則り、適切に処理を行っている。各事務所においては、廃木材は暖房・給湯の燃料に、生ごみや落ち葉、草等はコンポストで堆肥化し、社員有志で行う畑に使用している。										11.6	12.4		14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エネルギー使用量の算出は行っていないが、原則として、化石燃料由来のエネルギーを使用しない取り組みを実現している(下記項目の通り)。								7.3			13						
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	暖房は薪ストーブ、給湯はウッドボイラー、発電は太陽光、その他電力は再生可能エネルギー由来の電気を購入(みんな電力より)し、温室効果ガスの排出を限りなくゼロに近づけている。								7.2 7.3			12.4	13.3					
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	建築事業、家具事業、リノベーション事業全てにおいて、接着剤や塗料など化学物質不含有品を掲げて取り組んでいる。			3.9				6.3				11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	事業における最重要の原料である木材調達においては、伐採後の再植林が実行されている調達先より購入を行っている。その他の素材もいずれ土に還るものを選定している。また社員全員で、宮城県栗原市にて植林・育林活動を行っている。							6.6						15				
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	事業で使用する原材料は、最終的に土に還っていく自然素材のみとしており、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルされている。											12.5		14.1				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ								6.4 6.6											

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業所の地区における清掃等の活動に参加している。				4						9		11	12		14	15		17		
33	地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	森林整備を行うNPO法人エコラ倶楽部の法人会員となり、全社員で間伐作業、草刈り作業に11年間取り組んでいる。主に施工エリア地域にて、自然に寄り添う活動をする方々を取り上げ紹介するフリーペーパー「てくてく」を製作し、発信している。				4								11				14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	基本	長野県の根曲り杉や間伐材を活用、薪小屋キットや木のお皿など商品開発を行っている。各事務所では、地域の野菜や米を用いて、昼食は賄いを作って食べている。放置竹林問題に携わり、整備や資源の有効活用を模索									8	9		11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	毎年、社内全体MTGにおいて、代表より弊社の経営理念、目標について講話している。										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	建築事業においては、建築基準法はじめ、法令順守が必須な事業活動であるため、全社員法令順守を当然のものとして業務に取り組んでいる。また顧問弁護士のもとで勉強会し、社内情報共有を行っている。																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	専門部署はないものの、経営理念に則って、地球に負荷をかけない事業をすべく社員一人ひとりが取り組んでいる。																			16	
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	弊社にて建築いただいたオーナー様と、オーナーズ倶楽部を作り、畑作りや、感謝祭の開催などを通じて対話し、より企業活動へ繋げている。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																				16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	「地球に負荷をかけない」ことを経営理念に掲げ、住む人にも環境にも安心安全な家づくりを行っている。																			16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ											9		11			13	13.1			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ											8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
サーキュラーエコノミーの普及推進に取り組んでいる。	サーキュラーエコノミージャパンを設立し、普及活動を行っていく。							7	8	9			12	13	14	15		17
「地域貢献」[教育]；地域の子も達に環境や食の教育をする。（森林・食・暮らし方等）	地域の子も達に、森林整備や釜戸ご飯と一緒に活動し環境や食の教育をする。	1	2		4									13	14	15		17
「サーキュラーエコノミー」；使い続けられる資源の開発への取り組み。	ブルーシートなど、使ったら棄ててしまう物を使い続けられる資源への開発に取り組んでいる									9			12	13	14			
「放置竹林問題への取り組み」	地域の困っている竹林を宝へ。経済・福祉・教育・農業との連携活動を行っている			3	4	5			8			11	12			15		17
人にも環境にも安心安全な家と、”丁寧な暮らし”をつくる「循環の家」	環境省グッドライフアワード 実行委員会特別賞 サステナブルデザイン賞 受賞			3				7		9		11	12	13	14	15		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）